

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	3 公園・緑地の維持管理	② 施策番号	5301
③ まちづくりの方向〔政策（章）〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大（節）〕	1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	3 公園・緑地の整備		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
都市整備部	住宅公園課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	各公園施設を利用する市民、利用者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	市民（利用者・使用者）の安全確保、利便性・快適性の向上を行う。
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	開発により公園、緑地が増加していく状態の為、維持管理経費の増加及び市民ニーズが多様化している。 高齢者及び子ども達による公園利用が減少していく。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	俵池公園利用実績	日	公園利用実績が増加することは、それだけ多くの市民に利用されることによりPark-PFIなど様々な公園の有効活用が考えられる。
	計算式		
②	りんくう南浜2号公園テニスコート利用実績	件	効率的・効果的な有料公園施設の維持運営が考えられる。
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	俵池公園利用実績	日	目標値						
			実績値	300	231	267	—		
			達成率						
②	りんくう南浜2号公園テニスコート利用実績	件	目標値						
			実績値	1,783	1,635	1,181	—		
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果			重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性		
1	公園緑地維持管理事業	俵池公園利用実績	日	231	267	266	50,543	53,438	51,904	B	イ	ab	
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
計	1						50,543	53,438	51,904				

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	公園、緑地の適正な維持管理を行うこと豊かな自然環境を維持・向上し、潤い溢れるまちづくりに寄与と考えます。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	公園緑地の適正な維持管理による市民の利用増を目指しているが、年度後半のコロナ渦の影響による利用減がみられる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	花苗や緑化樹の植樹や公園管理を市民、団体等に一定になっていただいています、公園・緑地の維持管理に限られた財源の中、増加する市民ニーズにより、今以上の市民・地域の協働が必要と考えます。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	公園緑地の維持管理施策は、公園緑地等維持管理事業や緑化推進事業により適正に実施されています。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	公園・緑地の増加及び施設の老朽化により、維持管理に重点化が必要であると考えます。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	増え続ける公園・緑地の維持管理費の増加及び施設の老朽化による更新が課題である。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	施設の不良個所の改修及び使用禁止措置
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	地域・団体等による維持管理委託を拡大する。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	民間活力による公園の有効利用による財源の確保を検討する。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	指標とする公園利用者数は一定確保されており、適切に取組が実施されている。 引き続き維持管理を実施するとともに、長期的視野による幅広い管理手法について検討を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある